

宣旨と綸旨

川尻秋生

日本の古文書学は、主として中世史が牽引してきた。そのため、主要な様式である宣旨・綸旨については、分厚い研究史が蓄積されてきた。しかし、これらの用語の起源は中国にあり、朝鮮半島でも使用されているにもかかわらず、中世史の範疇を超えるため、日本への伝来や相互比較については、ほとんど研究されていない。

一方、古代史の文書様式に関する研究も盛んであるが、公式令に規定されたものがほとんどで、それにならぬ文書の比較・検討はあまり盛んではない。宣旨については、早川庄八氏による口頭を重視した研究があるものの、実態解明に注力されているため、その起源については注意が向けられていない。

そこで、本報告では、日唐の比較、そして朝鮮半島との比較も通し、東アジアの中でのそれぞれの位置づけについて、具体的に考察してみたい。